ポーラー・ロウ

ポーラー・ロウ

- （①）期に（②）気流の（③）側の寒気場内に形成される、寒気内小低気圧。（④）内低気圧と訳される。スケールは（⑤）規模である。
- 衛星画像では（⑥）状またはコンマ状に見られ、（⑦）から成る。地上天気図では（⑧）低気圧、または気圧の（⑨）として解析される。

①：寒候、②：寒帯前線ジェット、③：北、④：寒帯気団、⑤：メソα、⑥：渦、⑦：積乱雲、⑧：閉じた、⑨：谷

成因①

- （①）渦または寒冷（②）の（③）下に伴い 500hPa で−33℃以下の寒気が海上に流入すると、暖かい海洋上で海面からの（④）と（⑤）の供給を受けて寒気域内で深い（⑥）を生じ、寒冷渦の近傍に雲渦を形成する。
- 中心付近は眼があり、下層では（⑦）核を形成する。
- トラフに伴うポーラー・ロウは（⑧）雲を形成する。

①：寒冷、②：トラフ、③：南、④：顕熱、⑤：水蒸気、⑥：対流、⑦：暖気、⑧：コンマ状

成因②

- 大規模温帯低気圧（傾圧不安定）の発達の副産物として形成されることもある。
- CISK（第二種条件付不安定）によるポーラー・ロウは（①）雲を形成する。

①：渦状

ポーラー・ロウに伴う天気

- 短時間の大雪や（①）を伴う。
- 上陸後は急速に（②）する。

①：強風、②：衰弱